

東京都市大学校友会 会長 松村慶一

本日、ここに学位を取得された皆さん、誠におめでとうございます。

そして、この日まで支えてきていただいたご両親、ご家族の方々にも心よりお祝いを申し上げます。ここにいらっしゃる卒業生の皆様は、東京都市大学の「校友」となり、その同窓会である校友会の会員となりました。心より歓迎いたします。

同窓会である「東京都市大学校友会」は 東京都市大学の前身である武蔵高等工科学校が1929年に発足して、これまで10万2000余名の卒業生を要しています。そして全国各地、世界各地域で活躍している卒業生により運営されています。北は北海道から南は沖縄まで全国45の地方支部、米国支部をはじめ東南アジアなどの海外支部、そして官公庁、民間会社で勤務されている方々の組織として27の企業職場支部で構成されています。それぞれの支部で、地域でさまざまな活動を行っています。皆様も勤務される会社、地域で諸先輩方と合流されることを望みます。これら10万の先輩諸氏卒業生からのエールを皆様にお届けしたいと思います。

今日皆様には社会人となるにあたって、2つのことをおねがいしたいと思います。

その1つは、ダイバーシティーすなわち多様性への対応です。そしてリスキリングすなわち学び直しです。社会情勢の変化とテクノロジーの進展がはやい今の社会において「社会人になる」とは、「学び終えること」ではなく「働きながら、学び続け、変わり続けること」を意味する言葉になっています。まさにこれらから求められるものは、「多様性(ダイバーシティ)への対応」そして「リスキリング(学び直し)」です。社会人として、個々に必要とするスキル、求められるスキルを探求、獲得し続けることが求められています。そしてその結果が、さらなる「創造力」「発想力」にもなり、「教養」にもなるものと思います。東京都市大学で培った様々な技術、教養を基盤技術として、さらなる「スキル」の高みを目指していただきたいと思います。そしてそこに、社会貢献と共に、個々の心の豊かさ、生活の豊かさ、人生の豊かさを導くことができるとおもいます。

東京都市大学校友会も大学とともに、多様な職種、スキルを持つ卒業生諸先輩の協力をえて、「生涯キャリアサポートプログラム」を立ち上げました。仕事の上で「学びの必要」に気づかれたときには、いつでもその支援ができる場の提供を、さらには一般教養、趣味、社会活動などを含めて生涯スキルを磨き続けるきっかけを提供したいと考えています。そしてそこに新たな校友の輪が広がるものと信じています。大いに校友会を利用ください。校友会は生涯にわたって卒業生を支援します。

そして2つ目は「出会いを大事にしてください」です。残念ながらコロナ禍にあって在学時代の友人、クラブ仲間などの交流は多くはなかったかもしれませんが、その分、交流の密度は高くなったかもしれません。時に時代の流れは私たちにあって順風ではありません、これを乗り越えた人生、交流は得難くなることは確かです。こらからも社会で、仕事で東京都市大卒業生に会う機会は少なくありません。思いがけないところで諸先輩にお会いすることがあると思います。これまで大学を通じて得た旧友は生涯あなたの友達です。校友会には多種多様な人生を歩んでいる方がいらっしゃいます。枚挙にいとまありません。あなた方の身近に、そして東京都市大という共通項で共有する仲間がたくさんいらっしゃいます。毎年秋に「ホームカミングデー」と称して大学に卒業生が集います。さらには、オンラインを通じて国内の、世界の卒業生の仲間と共有できます。いままで会ったことのない卒業生同士でも会話が始めれば、そこからが「先輩・後輩」です。「仲間」です。「出会いを大事にし、そして育んでください」

社会人として、「個々に必要なスキル」、「求められるスキル」を探求する、スキルを獲得し続ける取り組みをお願いします。そして、多くの仲間を、はぐくんでいただくことをおねがいします。**自らが決めて取組んだ仕事の先に、皆さんの心の豊かさ、生活の豊かさ、人生の豊かさ、そして社会の豊かさを導くことができると信じます。**

これからの、人生100年時代に向けて、健康をはぐくみ、力いっぱい活躍されることを祈念しまして 本日の祝辞とさせていただきます。 本日は誠におめでとうございます。

以上